

大規模災害時 食糧支援のあり方は

大規模災害時の被災者への食糧支援のあり方について考えるシンポジウム「南海トラフ地震津波に向けた食糧支援」(国際医療NGO「AMDA」主催)が5日午前10時から、北区奉還町2の岡山国際交流センターで開かれる。

AMDAは県内の農家など約60団体・個人の協力を得て、災害直後の炊き出しなどに充てる米の供給体制を整備している。シンポでは、AMDAグループの菅波茂代表が講演し、支援農家の役割と食糧支援の重要性を訴えるほか、農家代表らで意見を交わす。

また、東日本大震災後の失業などが原因で路上生活をする人に仙台市のNPOを通じて米を届けるAMDAの活動も紹介する。

参加無料。問い合わせはAMDA(086・252・7700)。

北区です AMDAがシンポ